種子屋街道の歴史を今に伝える

種子屋街道に芽吹く地域の未来

令和５（2023）年４月に豊島区の有形文化財に
指定された「榎本家店舗兼住宅および新座敷」は、
江戸時代から滝野川～巣鴨の中山道沿いで
営まれてきた種子屋の歴史を今に伝える、
戦災を奇跡的に免れた区内最古の木造住宅です。
この文化財の背景にある種子屋街道の歴史や、
建物を後世に長く残していく意義などについて、
区民の皆様に広く知っていただくことを目的に
シンポジウムと現地見学会を開催します。


①



②


③

2026年

11/28 ㊏

13：00～16：30

プログラム

第1部 １３：００～１５：００
シンポジウム

第2部 １５：１０～１６：３０
文化財保存修理事業見学会

会場 大正大学８号館礼拝ホール
（豊島区西巣鴨３－２０－１）

定員 １５０名（当日直接会場へ）

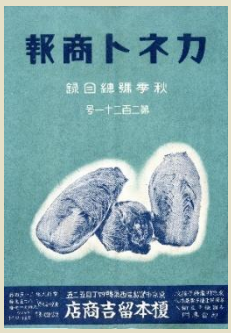
参加費 無料



④



⑤



⑥

主催：一般財団法人榎本種苗歴史文化財団
共催：学校法人大正大学・豊島区・協同組合伝統技法研究会
後援：巣鴨信用金庫・株式会社日本農林社・ 一般社団法人日本種苗協会・株式会社種苗会館・
住友林業株式会社・東京種苗株式会社

【問い合わせ】一般財団法人榎本種苗歴史文化財団　０３－３９１８－５４５４

第1部　13:00～15:00
シンポジウム

報告① 江戸・東京の特産物と種子屋（たねや）
―榎本留吉商店と種子屋街道―
（豊島区立郷土資料館　学芸員　横山恵美氏）

報告② 江戸東京野菜には物語がある
（江戸東京・伝統野菜研究会代表　大竹道茂氏）

報告③ 巣鴨オールキャンパス構想と種子屋街道
（大正大学教授　古田尚也氏）

報告④ 種子屋の歴史を受け継ぐ緑地づくり
（信州大学農学部研究員　政金裕太氏）


⑦


⑧



⑨


⑩

第2部　15:10～16:30
文化財保存修理事業見学会

解説：協同組合伝統技法研究会　角野茂勝氏
※雨天の場合は内容を変更する場合があります。


⑪

日程　令和８（２０２６）年 11月28日（土）

定員　１５０名（当日直接会場へ）

会場　大正大学８号館礼拝ホール（豊島区西巣鴨３－２０－１）

参加費　無料

①現在の榎本家店舗兼住宅（令和8年2月撮影）、② 2021年 種子屋街道さんぽ市の様子 大正大学提供、③大正期～昭和初年頃の榎本留吉商店 四代目榎本留吉『榎本の思い出集』 昭和56年より、④『カネト商報』189号 昭和13年 豊島区立郷土資料館所蔵「榎本泰吉家文書」、⑤『カネト商報』217号 昭和16年 豊島区立郷土資料館所蔵「榎本泰吉家文書」、⑥『カネト商報』221号 昭和16年 豊島区立郷土資料館所蔵「榎本泰吉家文書」、⑦種子枡 榎本泰吉氏所蔵、⑧滝野川ごぼうの花 大竹道茂氏提供、⑨種子地蔵と種子屋街道の看板（令和6年6月撮影）大正大学提供　※現在は移転しています、⑩榎本邸緑地計画平面図 政金裕太氏提供、⑪令和７年度文化財保存修理事業見学会の様子